

令和5年度 こども園（保育園）関係者評価

施設評価シート

子育てセンターなかぜ

こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価

評価日時： 令和6年2月1日（木） 13:30 ~ 15:00

【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名（当日1名欠席）

【園の教育・保育目標】

えがお かがやく なかぜっこ

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

「なんでだろう」「やってみたい」・・・ドキドキ、ワクワク・・・「おもしろい！」
感動と好奇心に突き動かされ、繰り返したり、試したり、工夫する力を合わせるなど意欲的に遊びや生活に参加できる環境、時間、空間を大切に。遊びを通して学びが深められるよう、発達に応じた活動の提供、幼児期の終わりまでに育てたい姿をイメージしながら教育・保育に取り組む。

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価	評価理由	最終評価	評価委員から
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	4	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者オリエンテーションの際にグランドデザインや重点目標を説明している。職員には3月末の職員会議の時に周知し理解、意識して保育教育に取り入れている。 ・研修ではクラスでの話し合いの時間を設け保育環境を整えることができた。引き続き季節ごとや子どもたちの興味のある遊びに応じて環境を整えていきたい。 ・子どもたちが「やってみたい」と思えるコーナー遊びを企画（夏の遊び、秋の自然物、お正月遊び等）をした。夢中になって遊ぶ中で、子どもたちが「なんでだろう」と疑問に思ったことや不思議に思ったことを一緒に考えたり、実際に試したりした。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・目標ははっきりしていて、保育活動に活かされている。職員同士思いが共有ができています。 ・懇談会の際、おばけやしきこっこの様子を見て成長の過程が見られた。 ・運動会の際、この力をつける為にこの競技をしているという目的がはっきりしていた。 ・先生主導ではなく、子どもたちから出た意見を遊びにつなげている。 ・活動が先生方の準備があって子どもたちの意欲をかきたてるものとなっている。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	3	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画、月案、週案は教育保育要領をもとに全体的な計画から落とし込んでいます。 ・計画を立てる上で個々の様子についてもクラス内で連携をとりながら環境設定や実践に努めている。 ・園舎裏の畑の環境を活かし野菜の栽培や収穫、食体験を通し食育活動に力を入れている。 ・夏にどろんこ遊びをしたり、秋には焼き芋をしたりと子どもたちの「やってみたい」の気持ちを尊重できる場所となった。 ・実践の反省を活かし、次への活動へつなげる努力が少ないのが課題であると感じる。 ・縦のつながりも意識しているがクラスを超えて話し合う機会が少なく日々の活動に異年齢活動を取り入れる機会が少なく感じる。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ・インフルエンザの関係で先延ばしした計画もあるが、ほぼほぼ計画書に基づいた活動をしている。 ・せっかくゆり組、ひまわり組のペアがあるので運動会もペアで参加できる競技があってもよいのではと思った。 ・クラス活動がメインとなっている。季節ごと、異年齢の活動の機会を増やしていけると良い。
III. 子どもにとっては 1. その子らしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心行くまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る	3	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス等で一人ひとりの子どもの姿を共有しその子に合った関わりが持てるようにしている。 ・子どもたちの気持ちに寄り添い「OOしたかったね」「OOがいやだったね」と子どもたちの声に耳を傾け、共感をしている。 ・自然豊かな畑で野菜作りをしたり、地域住民のご厚意によりみかん狩り、いちご狩りなど季節の自然に触れ豊かな経験ができています。 ・中高生と触れあったり、ゆうあいの里の友だちと交流したりと、様々な世代の方と交流をしている。 ・異年齢でコーナー遊びをしたり散歩に行く機会を設けたりし、思いやりの気持ちが持てるようにしている。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの良さを認め伸ばす姿がみられた。 ・なかぜの特徴である畑で、どろんこ遊びをしたり、さつまいも掘りをしたり、また、地域の方たちによくしていたたき、いちご狩り、みかん狩り等をしている。 ・中高生などいろんな人との交流をしている。

<p>IV. ファミリーにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に相談できる 2. いつでも保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 保育を通して地域に親しむ 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・朝、夕の送迎等保護者と気軽にコミュニケーションがとれるように（担任に限らず）自ら笑顔で挨拶や会話をするように心がけている。 ・また保育参加や個人面談を通し個々の様子について話をするよう機会をもち保育教育に活かしている。 ・毎月の園だよりやクラスだよりで日々の様子を分かりやすい言葉で伝え、毎日の活動の様子はメールで伝えている。 ・重点目標に合わせた活動内容を写真やコメント等で掲示し様子を伝えていった。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度調査のアンケートを見て保護者と先生たちの関係性が良いと思った。 ・感染症がまだまだ続いている。行事など一度に集まる回数を減らし、内容を濃くして頂けるとありがたい。 ・保護者がいろいろな職員が声をかけられる。保護者と職員の距離を縮める努力をしている。 ・職員が同じ方向を見て関わりを深めている様子が分かった。 ・ブログが充実した。
<p>V. 地域にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 緊急の時頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・なかぜっこの部屋、園庭を開放し、地域の方が親子でゆっくり遊べる環境を提供し時には子育ての相談にのったりしている。卒園児も卒園後、気軽に遊びに来やすい雰囲気作りを大切にしている。 ・はまずくヘルパー利用者が増え、家事、育児の手伝いや話し相手など困っている家庭を全力でサポートした。 ・中瀬地区青少年育成会に入り地域の中の園として関わりを深めて行く。 ・中高生の保育体験や夏休みを利用してボランティア活動の受け入れもやっている。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に開かれた園で誰でもここへくれば助けられるという雰囲気がある。 ・入園前に遊びに来てここにどんな先生がいてどんな雰囲気なのか分かる。 ・卒園児の同窓会も開かれている。卒園した子も喜んで参加している。つながりを大切にしている。 ・両親や祖父母とともに兄弟下の子の迎えに行くことを楽しみにしている。
<p>VI. スタッフにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個性が生かされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士情報共有できるように、朝の打合せノートを使用し、子どものこと、事務的なこと等みんなで周知できるようにしている。 ・職員同士各々得意なこと、苦手な事を理解し、お互い支え合っている。 ・より保護者に分かりやすい言葉で日々の活動メールが送れるよう、研修の中で書き方や注意事項を伝え、実際限られた文字数の中活動メールを書く実践をし自分の物とした。虐待セルフチェックをし、日々の保育を自分なりに振り返る機会を設け、園の課題を出し合い今後について職員みんなで検討した。 ・一人ひとりが視野を広げ自ら学ぶ姿勢を持ち、向上心をより上げていけると良い。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・先生たちが十分頑張っている様子が分かった。 ・運動会の活動の様子を見て先生たちがポイントを押さえて子どもたちに指導をしている。またベテランの先生が若い先生をサポートをしている。チームワークがいいと感じる。 ・ゆり組のサッカー大会に先生たちがたくさん見に来て下さった。子どもたちの為に応援してくれて嬉しかった。 ・職員が笑顔で心かいている。 ・それぞれがやりがいをもって安心して働いている。